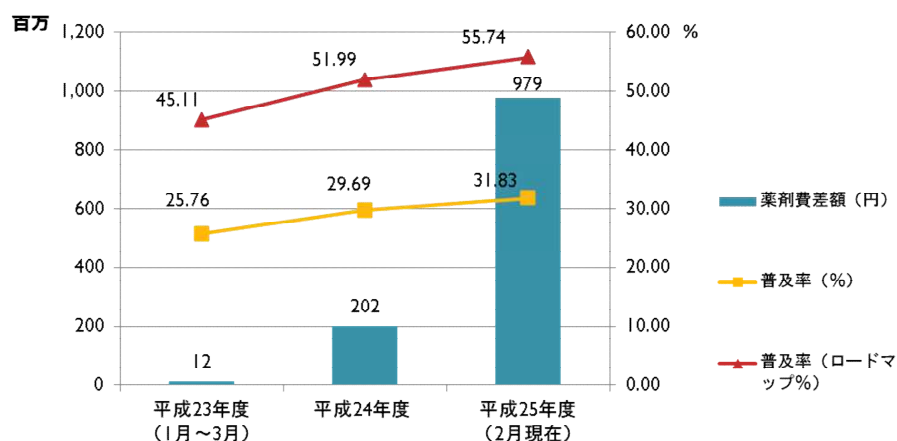


2) コールセンターの設置

- 国保連合会は、差額通知書の内容について被保険者からの問い合わせに対応するため、コールセンターを設置し薬剤師を常駐させ後発医薬品や差額通知書に関する説明または被保険者からの意見、質問に対応する窓口を設置しています。
- コールセンターに照会された内容については本システムを介して各国保保険者で閲覧、ダウンロードができます。

3) 事業の効果推移・集計

	平成23年度 (1月～3月)	平成24年度	平成25年度 (2月現在)
薬剤費差額 (円)	12,449,364	201,880,863	979,061,313
普及率 (%)	25.76	29.69	31.83
普及率 (ロードマップ%)	45.11	51.99	55.74



4) テレビ・ラジオスポットCM放映放送

- 被保険者のジェネリック医薬品の普及促進を行うことを目的として、テレビ・ラジオスポットCMの放映放送を行っています。
- 鳥越俊太郎氏を起用した15秒のテレビスポットCM及び20秒のラジオスポットCMを放送

項目	内 容
放送局	民放5局（KBC・RKB・FBS・TVQ・TNC）
放映・放送期間	平成25年6月24日～6月30日 平成25年9月30日～10月6日
放映時間	平日 6:00～9:00 12:00～14:00 19:00～24:00 土日 6:00～24:00



5) ジェネリック医薬品の希望表示シールの作成（H26年度新規事業）

新たな事業として、国保保険者の委託を受けて国保連合会においてジェネリック医薬品の希望表示シールを作成します。

作成したシールを被保険者証、お薬手帳、医療機関受診券等に貼付することで、ジェネリック医薬品の希望を医師や薬剤師に容易に伝えることが可能になり、後発医薬品普及促進が図られると考えています。

○希望表示シールの作成を予定している保険者
（平成26年2月現在）

・市町村国保 14保険者

Ⅲ.今後の検討項目

○後発医薬品普及促進支援システムの機能改修

保険者が実施する後発医薬品普及促進事業に関する評価・検証について、定量的な効果測定が効率的にできるようにシステムの機能改修を予定しています。

- 平成25年4月に厚生労働省が策定した「後発医薬品普及促進のロードマップ」で設定された目標値（普及率）の計算機能を追加。
- 後発医薬品差額通知者のうち、後発医薬品へ切替えた被保険者の累計人数（実数）の算出機能を追加。
- 後発医薬品切替効果額の算定機能を追加。
※後発医薬品を先発医薬品の価格に置き換えて算定